Fukushima Prefectural Centre for Environmental Creation
NEWS LETTER
福島県環境創造センターニュースレター
2023.12.15
25

令和５年度 環境創造センター 成果報告会を 開催しました！

福島県、日本原子力研究開発機構(JAEA)、国立環境研究所(NIES)の調査研究の成果について、口頭発表とポスターセッションにて報告を行いました。

今回は、基調講演に東日本大震災・原子力災害伝承館 髙村館長をお招きし、震災当時のお話や子どもたちへの継承など貴重なお話をしていただきました。

Commutan Science Talk
コミュタン サイエンス トーク

10月1日に第１回コミュタン サイエンストークを開催しました。

センターの研究員からエネルギーや普段食べているお弁当がどこから来ているのか、わかりやすく説明していただきました。

次回は12月16日(土)に開催します！！

11:30～12:00	水辺の生きものたちのつながり(NIES)
13:30～14:00	いろいろなもの の はかりかた(JAEA)
15:30～16:00	水の電気分解を学ぼう(県研究部)

秘密の「本館」「研究棟」へ、1日限りの大潜入！ コミュタン リアルラボ

11月4日(土)に、当センターが取り組んでいる研究などについて、普段は入ることができない本館・研究棟に潜入し、楽しく学べる3棟周遊イベント**「コミュタンリアルラボ」**を開催しました!

周遊では、9ブースを3コースに分かれて学びました。参加者からは、「見たことのない生き物を観察できて楽しかった!」、「川のリアルな動きを見ることができた!」などのコメントをいただきました。

また、交流棟「コミュタン福島」では、らんま先生のエコサイエンス教室などを開催しました!!

見て、さわって、食べて分かる!? ふくしま生物多様性ラボ @コミュタン福島

10月21日(土)・22日(日)の2日間、「ふくしま生物多様性ラボ@コミュタン福島」を開催しました! ココリコ 田中直樹さん、俳優 金子貴俊さん、保全生態学者 五箇公一先生、生物採集系ユーチューバー マーシーさんなどをお迎えしたトークライブや講演会、特定外来生物であるウチダザリガニを食べて、考えるワークショップや関係団体のブース出展など、生物多様性について楽しく学べるイベントを行い、参加者からは、「生物多様性を子どもと一緒に勉強することができた!」、「ウチダザリガニを食べる体験が貴重でした!」などのコメントをいただきました。

ふくしまの高校生が伝える ナラティブ・プレゼンテーション

開催予告

詳細は後日公開 詳しくはHPから

開催日時	令和6年2月3日(土)12:30～16:00
会　場	けんしん郡山文化センター

「ナラティブ」は聞き手に想いを伝える話術、特に一人ひとりが主体となって語る表現技術を指す言葉です。令和6年2月3日には、福島県の高校生たちがステージに立ち、3.11からこれまでの経験をもとに「自分のいまの念(おも)い」を語ります。

ふくしま SDGsカレッジ 成果発表会を実施！

SDGsの目標達成に向けて、環境の視点から具体的なアクションを学ぶ「ふくしまSDGsカレッジ」成果発表会が11月19日に開催されました。

講座をとおして、各受講生が学んだことや今後SDGs達成のために取り組みたいことについて発表しました。

講座終了後は、今後の活動に向けて連絡先を交換するなど、早速SDGsゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」を体現していました!

現在、各受講生が作成したポスターをコミュタン福島1階ラウンジに掲示しています!

研究紹介

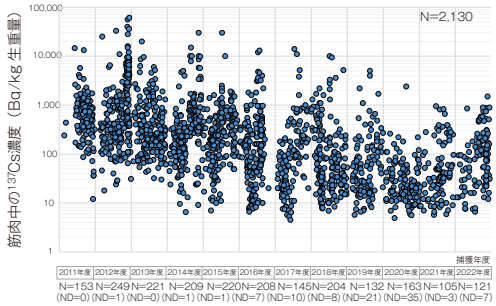
環境創造センターでは、福島県の環境回復・創造に向けて、「放射線計測」、「除染・廃棄物」、「環境動態」、「環境創造」の4つの部門（グループ）に分かれて、日々研究を行っています。今回は環境動態（野生動物）グループの研究について紹介します。

福島県では、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故により放射性セシウム等が森林などに放出され、そこで生活している野生動物の体にも放射性セシウムが蓄積しています。このことは、野生動物への影響だけではなく、狩猟鳥獣のような資源利用の観点からも問題となっています。そこで、環境動態（野生動物）グループでは、環境中の放射性セシウム等が野生動物の体にどのように蓄積するのかを調べています。

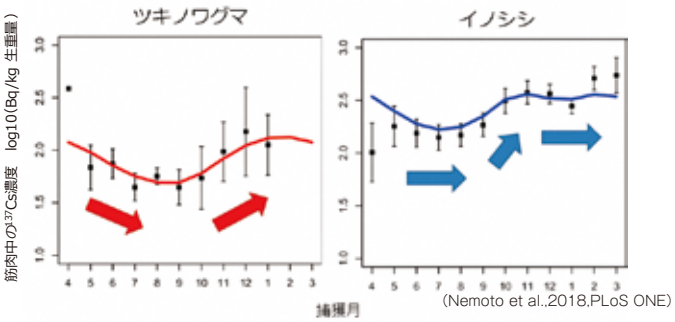
野生動物の体内に含まれる放射性核種濃度の研究

有害鳥獣捕獲や狩猟により捕獲されたイノシシやツキノワグマなど、野生鳥獣の筋肉に含まれる放射性セシウム濃度を調べています。

これまでに、放射性セシウムの土壌沈着量が多い地域ほど、筋肉中の放射性セシウム濃度が高いことが明らかになりました。また、筋肉中の放射性セシウム濃度は季節変動しており、イノシシやツキノワグマにおいては冬季に高くなる傾向が見られています。



イノシシの筋肉中における137Cs濃度の時系列変化

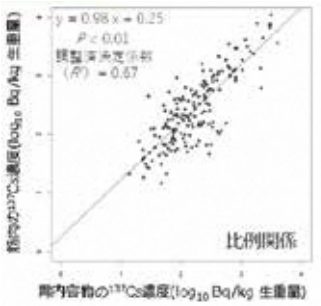


筋肉中における137Cs濃度の季節変動

野生動物の食性の研究

これまでの調査研究で胃の内容物の放射性セシウム濃度と筋肉中の放射性セシウム濃度は、比例関係にあることが明らかになっています。

そこで野生動物の食べ物の放射性セシウム濃度を調べてみたところ、ミズキ等の液果に比べてコナラ等の堅果の方が高いことが明らかになりました。



野生動物の行動の研究

野生動物の行動範囲やどんなところに住んでいるのかについてGPS首輪を用いて調べています。

クマ捕獲用トラップ

捕獲個体

福島県環境創造センター

福島県の環境回復・創造に向けた「モニタリング」、「調査研究」、「情報収集・発信」、「教育・研修・交流」の業務を行っています。環境創造センターホームページより、県内市町村の空間線量、大気環境等のモニタリング情報を御覧いただけます。

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」 入場無料

TEL.0247−61−5721　FAX.0247−61−5727

○開館時間　9:00〜17:00
○休館日　毎週月曜（月曜が祝日の場合、翌平日）・12月29日〜1月3日

ホームページ　https://com-fukushima.jp/

車をご利用の場合　磐越自動車道船引三春ICより約5分
電車をご利用の場合　JR磐越東線三春駅より車で約12分
三春町町営バスをご利用の場合（コミュタン福島をご利用の方はバス料金無料）　三春駅〜環境創造センター（コミュタン福島）へ 年末年始（12月31日〜1月3日）を除き毎日（1日4便）運行

田村西部工業団地内、ドームが目印です。

発行 福島県環境創造センター（企画課）　住所：福島県田村郡三春町深作10番2号（田村西部工業団地内）　電話：0247−61−6128　FAX：0247−61−6119
ホームページ：福島県HP https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/298/　福島県環境創造センター https://www.fukushima-kankyosozo.jp/